

## カシナガトラップによる防除対策

- 1 大山周辺地域で設定した被害対策強化区域において、集中的に防除対策を行う。
- 2 区域内では、被害木の徹底した「駆除」を行う一方で、カシナガトラップによる予防対策を行い、駆除と予防をセットにした防除対策を強化させていく。

### カシナガトラップ

被害木周辺の主に健全木をおとり木として、カシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」）を捕獲する方法。それらを対象にトラップを設置し、カシナガに枯れない程度の穿入をさせながら、集合フェロモンを発散させ、誘引された他のカシナガを、トラップの漏斗に衝突・落下させ、大量に捕獲し、森林全体を面的に守ることで、新たな被害を予防する。

- ① ペットボトル先端部を切ったような漏斗を25個程度連ねたトラップを使用。
- ② カシナガの羽化脱出直前（5月末）までに、被害木周辺や林分疎開部の大径木等にトラップを設置。立木1本に、トラップ3~4本程度を吊す。
- ③ 脱出最盛期（6月~7月末）には毎週巡回し、捕獲器を交換する。  
（7月末以降は2週間毎、~9月末まで）

### 〔設置木の選木〕

- ・ 主に健全木を対象とし、大径木から選ぶ
- ・ 道路沿いの疎開部等、明るい場所
- ・ 回収管理しやすい場所
- ・ 多数の穿入を受けた生存木でも、樹液が出ている大径木は選ぶ
- ・ 枯死木や、大量のフラスを排出している穿入生存木には設置しない
- ・ 周辺に被害木が多いが、被害が少ない林分

### 〔イメージ図〕

- 被害地の林沿や、林分疎開部、作業道沿線の大径健全木を中心に、カシナガトラップを設置し、巡回・管理する。林外から飛来したカシナガが、トラップにより捕獲される。



（カシナガトラップの設置状況）

